

日本発ドイツ便り : Weisse Weihnachten?

今年のクリスマスはいかがお過ごしでしたでしょうか？

本当に久々にドイツのクリスマス市に行ってきました。

12/18の午後にフランクフルトに着いたとき、もう雪が降り始めていて、ちらほらと飛行機のキャンセルや遅れがでていました。私の飛行機が夕方遅くにニュルンベルクに到着したときは、もうあたりは雪景色。その夜から12/20ごろまで猛烈に寒くて、日中の最高気温がマイナス5-8度。夜間の最低気温はなんとマイナス35度くらいまで下がったところもあるとか・・・。

ところで、日本では25日でクリスマス終了。クリスマスのイルミネーションも終わり、ツリーも片付けられています。ドイツでは25日が1 Weihnachtstag (ヴァイナハツターク : クリスマスの日)、26日が2 Weihnachtstag ということ、祝日です。ツリーを片付けるのは新年1/6以降になります。

タイトルの Weisse Weihnachten (ヴァイセ・ヴァイナハテン=白いクリスマス=ホワイトクリスマス) はドイツ人でもロマンチックと思う人は多いらしく、楽しみにしている人も多いのですが、意外や意外。なかなかクリスマスの日の雪景色というのは実現しないのだそうです。とくに最近の暖冬続きで今年みたいに本格的に寒いのは4-5年ぶりとのことで、今年は久々の Weisse Weihnachten なるか？！



雪で重そうなクリスマスツリー。



雪に覆われた街。いつもの風景とはまったく違う街にみえますね。いつもより絵になる感じです。



あまり雪を見たことをない私は大はしゃぎ！滑らないように慎重に、ではありますが、雪の中の散歩も楽しいものです。ただし、本当に凍りつきそうな寒さでしたが・・・。

すっかり凍えた体を暖めるには、やっぱりこれ。



グリューワイン。レモンやオレンジの皮、シナモンにクローブ、アニスなどの香辛料を入れて作る熱い赤ワイン。少しお砂糖も入っています。マグカップになみなみ注がれたグリューワインでまずはかじかんだ手を暖めて、一口。温かさと香辛料の香りが脳天まで広がります。ワインは暖めますが、沸騰はさせないので、少しアルコールが残っていて、一口飲むごとに体中がぼかぼかになってくるのです。「効く〜！」って感じです。☺

寒〜い日、グリューワインを両手でもって暖をとりながら外でおしゃべりしている。そんな光景が見られるのもクリスマス市のこの時期。やっぱり寒いときの飲み物はグリューワインです。

で、本題の Weisse Weihnachten?! ですが、22 日ごろから寒さが緩み、23 日にはすっかり雪は融けてなくなっていました。Schade! (シャーデ! : 残念!) と言ったドイツ人も多かったのでは? とはいえ、この週末また寒くなる。という予報だったので、クリスマス 2 日目の今日には Weisse Weihnachten を迎えることができたのかもしれないね。

ちょっと時期はずれますが、今回はクリスマス市のお話を(多分)お届けします。